

## 今日の説教のポイント <ヨナ書3～4章>

### ①ニネベの人々が悔い改めるなんて信じられない？

ヨナ書3章では、ニネベの人々がヨナの呼び掛けを聞いて、主に向かい、祈り、断食し、悔い改めの姿勢を示して救いを求めたということです。信じられないと思うかもしれませんが、歴史的にもこのようなことが起こったという記録は残っていません。だとするなら、聖書にこのような内容が記し残されていることの方が驚きです。しかし、この内容こそ、聖書全体が示している神様その方の思いです。旧約では、「ある時、私は一つの民や王国を断罪して、抜き、壊し、滅ぼすが、もし、断罪したその民が悪を悔いるならば、私はその民に災いを下そうとしたことを思いとどまる」(エレミヤ書 18:7。ヨエル書 2:12 以下も参照)。新約では、イエス様は、「7回を70倍まで赦しなさい」と言われた時に、莫大な借金を帳消しにされる主君の例え話をして父なる神様がどのようなお方であることを示されました(マタイ 18:21 以下)。私たちがここを読んで考えなければならない一番大事なことは、どんな悪人であっても悔い改めることができ得るのであり、それを神様が望んでおられるのだということです。「ある人たちは、遅いと考えているようですが、主は約束の実現を遅らせておられるのではありません。そうではなく、一人も滅びないで皆が悔い改めるようにと、あなたがたのために忍耐しておられるのです」(IIペトロ 3:9)。

### ②あなたは「自分はヨナとは違う」と言えますか？

神様がニネベを滅ぼすことをやめられてヨナは怒りました。同胞を苦しめた敵国人をいとも簡単に赦されたから？ 自分の努力は何だったのだと思って？ どちらも今の私たちにもありそうなことです。しかし、ヨナは考えていたでしょうか、少し前に自分自身が神様に滅ぼされても仕方がないことをしたことを。それにもかかわらず、神様がヨナの命を救われたことを。ヨナは喜び、感謝したはずです(2章)。自分の罪深さを思い、それが帳消しにされて今生かされていることを思ったならば、どうして他人の罪を責め続けられるのでしょうか。ヨナの中に私自身を見ます。そして、その私を赦して下さる神様の愛を！